

研究企画書

山口県立総合医療センター

4階北病棟

看護師 稲森晃

1. 研究テーマ

急性期病院における院内発症の脳卒中患者の実態

2. キーワード

急性期病院 脳卒中 院内発症

3. 用語の定義

脳卒中：脳梗塞、脳出血、くも膜下出血

院内発症：脳卒中センター以外の病棟、入院患者

4. 研究の動機

脳卒中を発症すると意識障害や麻痺、言語障害などが突然起こり、重篤な後遺症を残すことがある。そして、脳卒中発症後の生活を再構築しなければならない。脳卒中は1分、1秒を争う病態のため、脳卒中の治療は早期発見と迅速な対応、治療までの介入が重要となる。

院内で発症する脳卒中治療開始までの時間は、市中発症よりも早いと考えられるが、予想以上に診断と治療に遅れがみられるとの報告がある。院内発症の脳卒中の診断と治療の時間を短縮するためには、院内発症の脳卒中患者の第一発見者として多い職種が看護師であると考えられ、看護師への啓発が最も重要になるのではないかと考える。

当院は36診療科がある急性期病院で、様々な基礎疾患を合併している多様な患者が入院している。様々な病棟があるなかで、原疾患の治療のため入院している患者が、入院中に脳卒中を発症した際の脳神経領域に関する看護師の経験値や知識は違う。そこで、当院の院内発症脳卒中患者の実態を知ること、『自部署の診療科は脳卒中を発症するリスクが高い、この患者は脳卒中を発症するかも、脳卒中を疑ったらこの評価をしたらよい、もしかしたら脳卒中かも？』などの視点で、看護を行うことができるのではないかと考える。また脳卒中患者の発見から治療までのプロセスを振り返ることで、観察やアセスメントの課題を抽出でき、その問題解決に取り組むことによって、看護師個々の看護実践能力を高めることにつなげることができるのではないかと考える。しかし、院内発症時の部署だけでは迅速な治療介入までの時間短縮の目的は達成できないのではないかと考える。第一発見した看護師、主治医、脳卒中診療科の医師、さらには放射線技師など様々なスタッフが脳卒中診療には携わるため、診療科や病棟の垣根を超えたチーム医療が重要であると考え。そして病院全体としても、院内での脳卒中患者発症時のシステムを考えることで、脳卒中発症時の救命だけではなく、患者家族の一生を救うことができると考える。

病態が複雑かつ緊急性の高い院内発症の脳卒中患者に迅速に対応できるよう、脳卒中センターの看護師として今後の課題と役割を見いだすことを目的とし、今回の研究に至った。

5. 研究の背景

院内発症の脳卒中患者の実態と傾向を知ることができる

6. 研究の目的

当院の院内発症の脳卒中患者の実態と傾向を分析する

7. 研究の方法

① 研究デザイン

後方視的デザイン

② データ収集期間

2020年8月1日～2023年9月30日

③ 研究期間

2024年4月臨床研究倫理審査委員会承認後～2024年10月

④ 対象者

山口県立総合医療センター入院中に脳卒中を発症し、脳神経外科・脳神経内科へ転科した17例

⑤ データ収集方法

診療録と看護記録から院内発症した患者のデータを抽出する

⑥ 収集する情報

年齢、性別、診療科、入院経路、入院時の疾患名、既往歴、脳卒中発症までの在院日数と退院時までの在院日数、脳卒中の病名、病型、発生機序、第一発見者、最終健常時刻から治療までの時間、血栓溶解療法の有無、血管内治療の有無、転帰、入院時と退院時の modified Rankin Scale

8. 倫理的配慮

当院の臨床研究倫理審査委員会の承認と院長の実施許可を得てから行う。個人が特定されないよう対応表を作成して、要配慮個人情報の取り扱いや管理は研究責任者が厳重に行う。

9. 研究の限界

特になし

10. 引用・参考文献

鈴木祐, 秋山久尚, 星野俊, 他: 院内発症脳梗塞の診断・治療遅延因子, 脳卒中, 43 (3): 206, 213, 2021

廬本勝美: 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師が行う院内発症脳卒中に関する出前勉強会の効果, 多根医誌 第11巻 第一号, 2022

日本脳卒中学会 脳卒中ガイドライン委員会編: 脳卒中治療ガイドライン 2021, 協和企画, 東京, 2022

山口県立総合医療センターで入院治療された皆様

このたび、臨床研究倫理審査委員会の審査を受けて院長の許可の元で下記の研究を実施しておりますのでお知らせします。研究の対象者に該当する可能性のある方で、研究に情報が用いられること希望されない場合には、下記の問い合わせ先までお申し出ください。

研究課題名	急性期病院における院内発症の脳卒中患者の実態
目的	当院の院内発症の脳卒中患者の実態と傾向を分析することを目的とします
実施予定期間	臨床研究倫理審査委員会承認後～2024 年 10 月
対象患者様	2020 年 8 月 1 日～2023 年 9 月 30 日の期間中に山口県立総合医療センター入院されていた患者様
使用する情報	年齢、性別、診療科、入院経路、入院時の疾患名、既往歴、脳卒中発症までの在院日数、退院時までの在院日数、脳卒中の病名、病型、発生機序、第一発見者、最終健常時刻から治療までの時間、血栓溶解療法の有無、血管内治療の有無、転帰、入院時と退院時の modified Rankin Scale
公表	学会での報告予定
問い合わせ先	山口県立総合医療センター 看護師 稲森晃 0835-22-4411